

コード番号 ( ) 名前 ( )

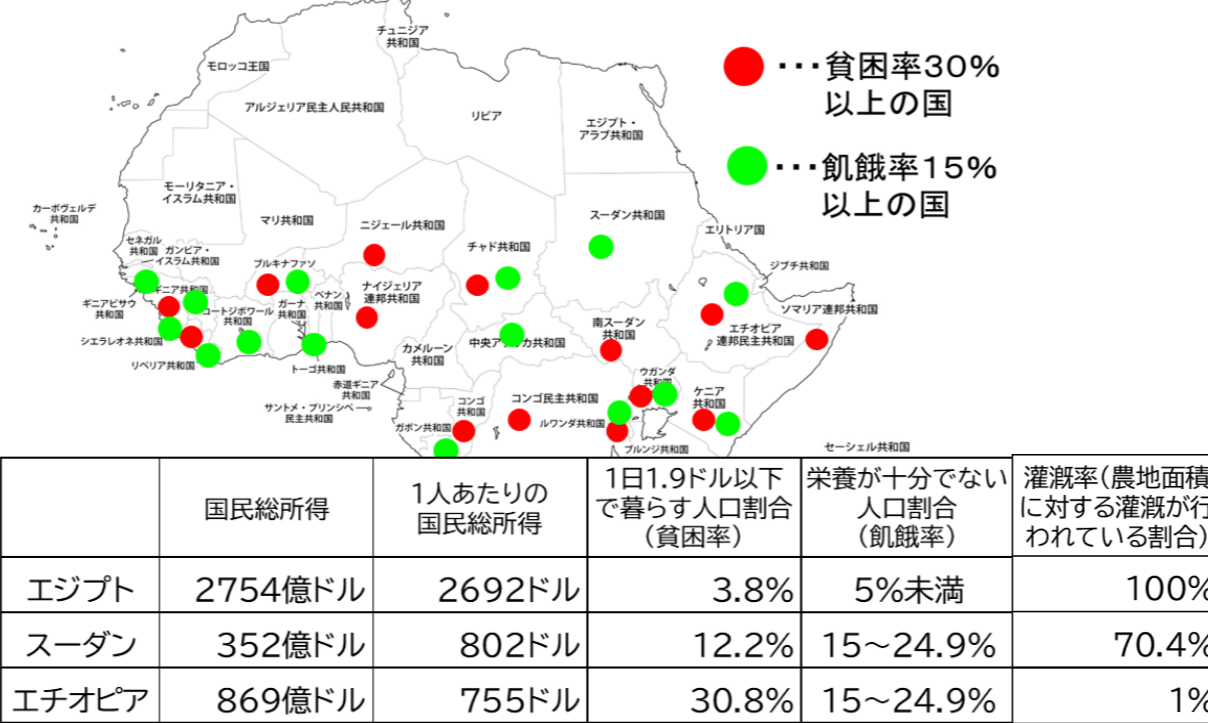
資料1 ダム建設によるエチオピアへの効果



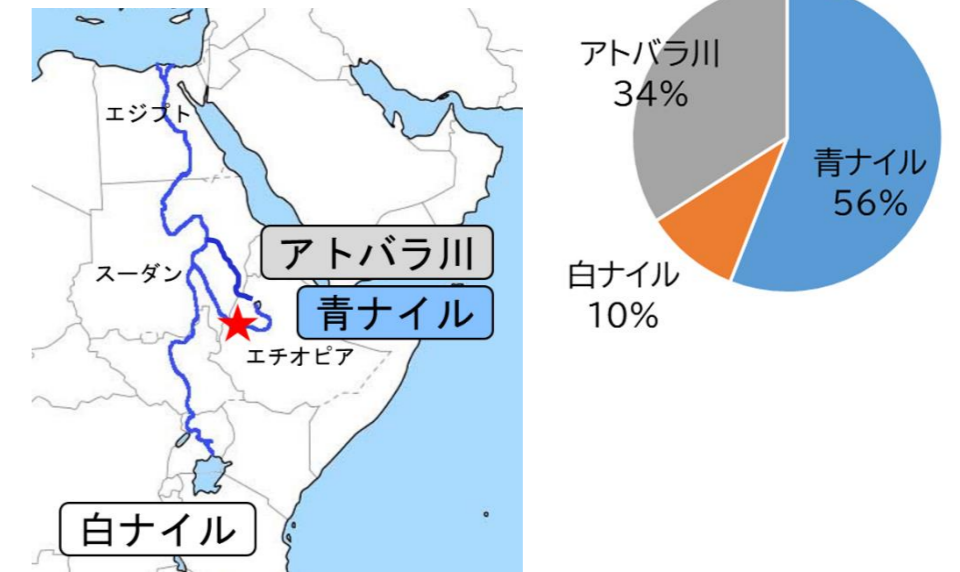
**アビー首相**

「現在電気が届くのは人口の半数以下。このダムで発電ができると、数百万人の国民を貧困から救うことができる。また、雨季と乾季がある国内において、60%を超える人々に、安定した水の供給もできる。」

資料2 水路国の国民総所得と貧困率・飢餓率・灌漑率



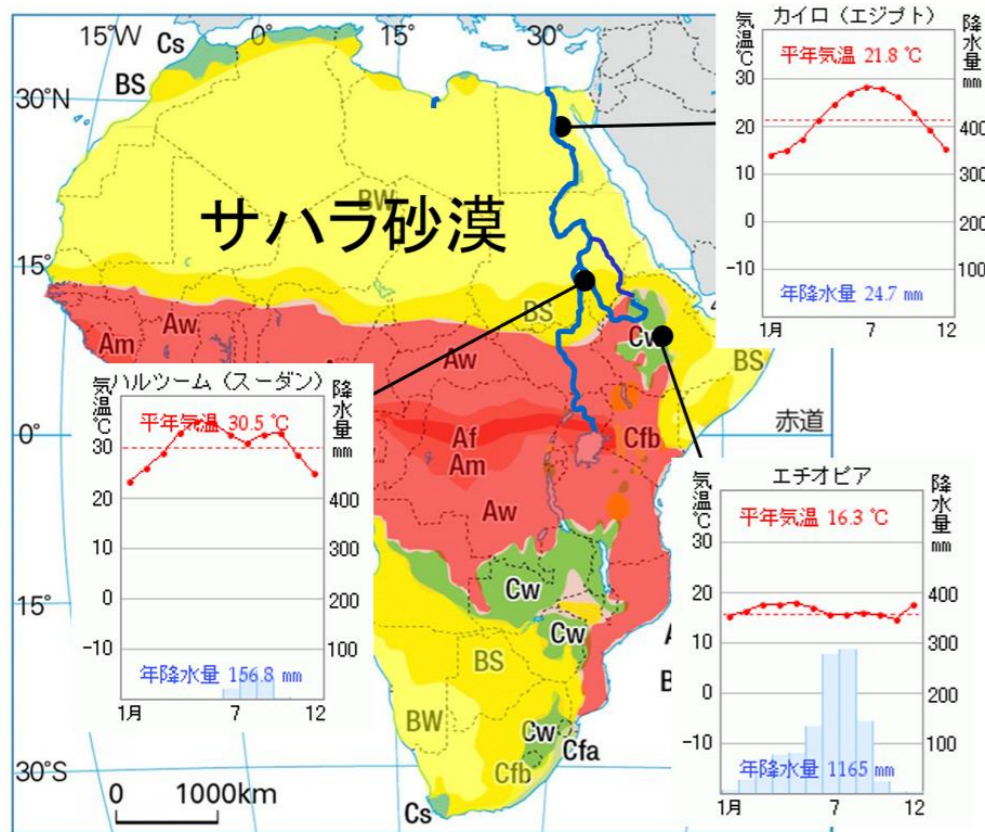
資料3 ナイル川の流量内訳



資料7 国際水路条約 第5条

国際水路条約 第5条  
「水路国はそれぞれの領域において国際水路を衡平かつ合理的な方法で利用する。特に水路国は、関係する水路国の利益を考慮しつつ、水路の適切な保護と両立する利用及びそこから生ずる便益を最適かつ持続可能なものとするように水路を利用し、その開発を行う」

資料4 水路国の雨温図と気候帯

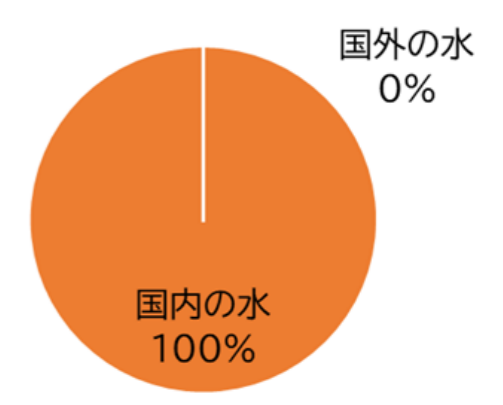
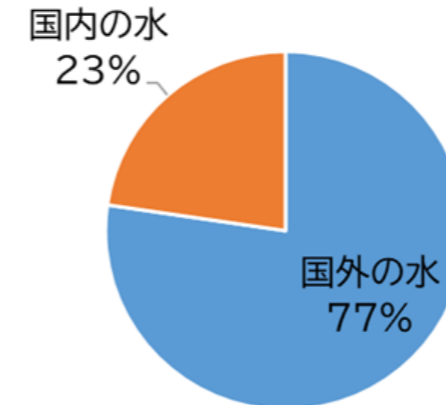
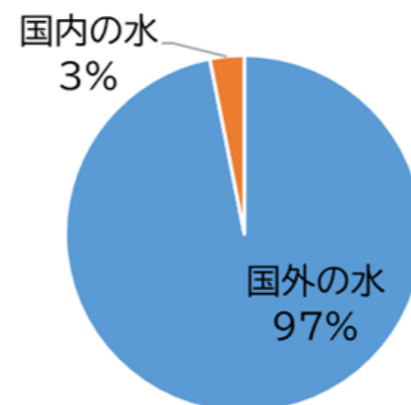


資料5 水路国の人口と流域人口

	人口	ナイル川流域で暮らす人口
エジプト	1億230万人	9820万人
スーダン	4384万人	1790万人
エチオピア	1億1496万人	3680万人

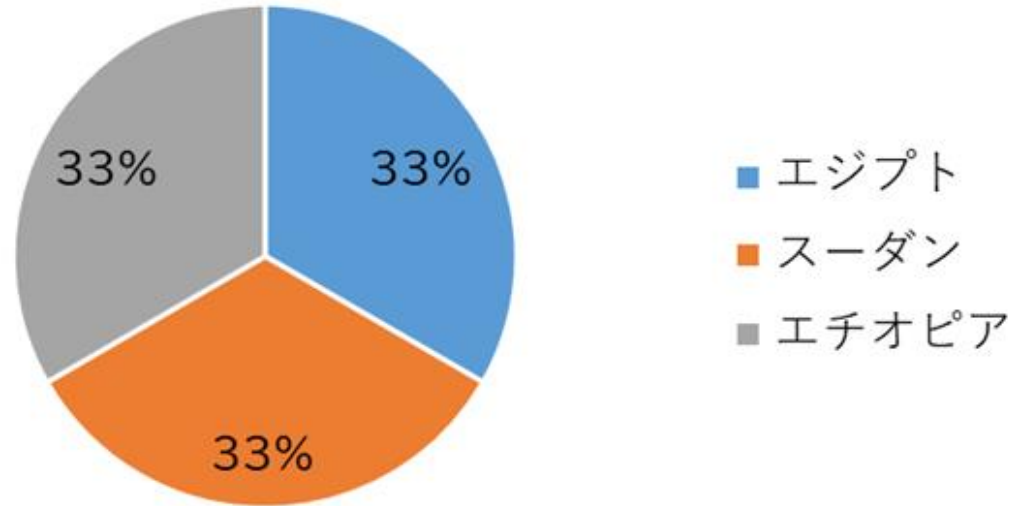
資料6 水路国の水源依存度

ナイル川流域国の水源依存度(エジプト) ナイル川流域国の水源依存度(スーダン) ナイル川流域国の水源依存度(エチオピア)



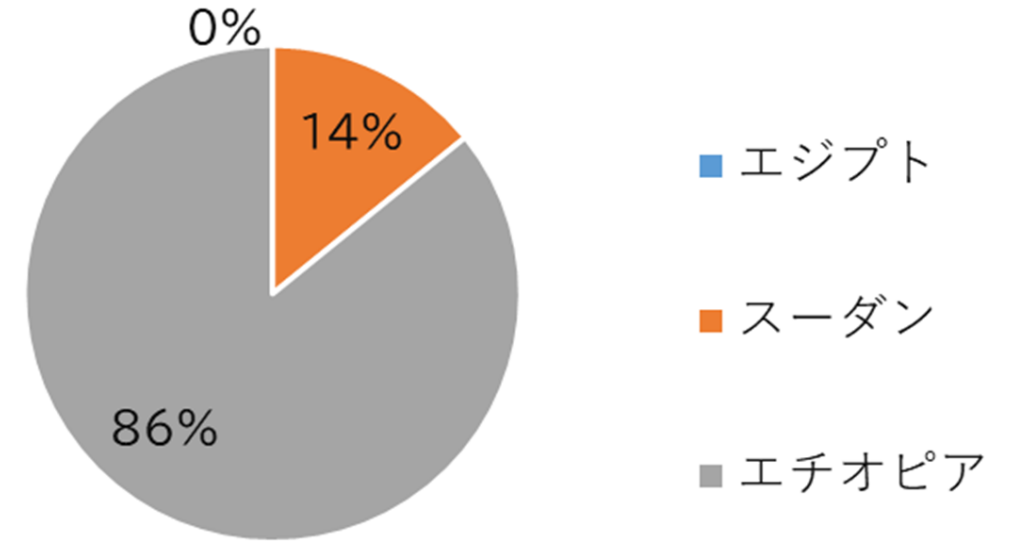
①

3か国で等分した割合



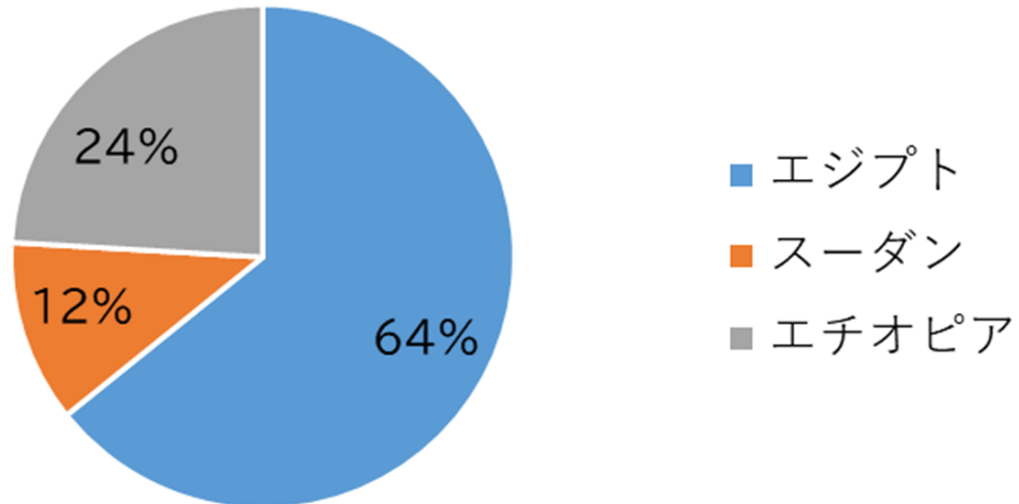
②

ナイル川の水量に貢献している割合



③

流域で暮らしている人口の割合



国外から得ている水の割合(水の依存性)

